

令和6年度 南あわじ市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：3名
- 2 認知症地域支援推進員の役割



- 認知症に関する正しい知識の普及（認知症サポーター・ステップアップ講座・キャラバンメイトの支援）
- ケアパスの活用と普及
- 見守り・SOSネットワーク事業（模擬訓練を含む）の推進
- 認知症疾患医療センターを含む医療機関、介護サービス事業者等関係者との連携体制構築
- 認知症を支える家族の会・認知症カフェへの支援
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症（若年性含む）の当事者支援・家族支援
- 認知症チェックシート・物忘れ相談プログラムの普及

報告者氏名：小島 朋代

南あわじ市認知症施策全体図

認知症相談センターの設置
(認知症地域支援推進員の配置)

④地域支援体制の構築

高齢者等の
見守り・SOSネットワーク
ネットワーク連絡会

認知症サポーター養成講座
・ステップアップ講座
キャラバンメイト連絡会

「認知症になっても安心して
暮らし続けることのできるまち」
南あわじ市



①早期発見・早期対応・予防

認知症チェックシートの普及

認知症初期集中支援チーム
検討委員会

しゃきしゃき百歳体操

②医療連携体制の構築

認知症疾患医療センター・
南あわじ市医師会との連携

認知症ケアネット
(ケアパス)の活用

③家族・本人支援

認知症を支える家族の会「スマイル」

スマイル(認知症)カフェ

若年性認知症の会 ※休止中

標題 南あわじ市における地域共生社会・ 認知症バリアフリー実現にむけた取り組み

認知症の正しい理解を広めるための普及啓発

南あわじ市の現状や聞き取った声として…

- ・出張認知症カフェを実施し、情報交換や話ができる場を作りたい（家族会会員）
- ・認知症に関する相談窓口を知っているのは、21.1%（第9期計画策定アンケート）
- ・医療・介護関係者でケアパスを知っているのは50%（在宅医療・介護連携研修会アンケート）
- ・改訂版認知症サポーター養成講座を職域や若い世代に受講してほしい

（キャラバン・メイト）

認知症についての正しい理解を
広め、住みやすいまちにしたい



世界アルツハイマー月間イベントで映画上映会を開催しました

家族会・チームオレンジ・市長の「認知症とともに生きる希望宣言」
映画終了後、認知症カフェや物忘れチェックなどをしました。



【成果】 109人参加 認知症への理解が深まったと答えた人 98%

【今後について】 毎年9月にイベントを行い、認知症を知ってもらう

出張認知症カフェ inショッピングセンターのイートインスペース



【成果】 出張認知症カフェをきっかけに、市内2か所目の認知症カフェが誕生！

【今後について】 家族会・チームオレンジと新たな場所出張認知症カフェを開催し、本人・家族・地域とつながっていききたい

- 最後に・・・

令和7年度もチームオレンジと協力し、認知症になったご本人、家族、地域住民が共に支え合い助け合いながら、安心して暮らせる南あわじ市をめざします。

